

● Photo sketch ●



1年生「中馬馬子唄踊り」の発表

11/19 地域の伝統から学ぶ

濃南中の全校生徒57人が総合的な学習の時間「中馬の時間」を活用し、地域の講師や団体から伝統文化について学び、保護者や地元住民らを前に学習成果を堂々と発表しました。1年生は「中馬馬子唄踊り」、2年生は「曾木打囃子」、3年生は「陶芸」について発表。生徒らはこの学習を通して、「地元の伝統を受け継ぐ大切さ」、「最後まで取り組む姿」、「伝統を広めるために自らが進んで行動すること」などを学び、今後の生活に生かしていきたいと話してくれました。



11/20 音楽の魅力を分かち合う

文化プラザ・ルナホールで市音楽祭(バンドの部)が開催されました。音楽祭は、11月13日に合唱・合奏・吹奏楽の部が同サンホールで開催されており、両日ともに多くの音楽ファンでにぎわいをみせました。

この日は、13組のバンド47人が出演し、迫力のある歌声や演奏を披露。会場は応援や歓声も飛び交い、音楽を楽しむ者同士の熱気に包まれていました。

12/2 ペったん ペったん おいしいな

ひだ保育園で3～5歳の園児66人が昔ながらの雰囲気を味わおうと、杵と臼を使った餅つきを体験しました。用意されたもち米は6升(約9kg)で市長や保育士らも参加。園児らは杵が振られるたびに「よいしょ、よいしょ」や「ぺったんこ、それぺったんこ」など元気に掛け声を掛けていました。園児らはきな粉やあんこ、ゴマなどを付けたつきたての餅を「あんこが一番おいしい」、「もっといっぱい食べたいな」など顔をほころばせながら食べていました。



12/8 思いやりのことを大切に

人権擁護委員による人権教育が妻木小学校附属幼稚園で行われました。園児らは、委員による講話や紙芝居を通じて、「あいさつを自分から進んですることの大切さ」や、「相手を思いやる気持ち」を学びました。また、委員によるギター演奏に合わせて、人権イメージキャラクターソングなどを元気いっぱいに歌いました。

教室の最後には、園児全員が大きな声で元気よく「ありがとうございました」とお礼のあいさつをしました。



11/20 認知症になっても あんじゃなあ

認知症になっても安心して暮らせる町を目指して「土岐ラン伴+(プラス)」が行われました。認知症の方やその家族の方、地域に暮らす一般の方、企業や行政などさまざまな人がタスキをつなぎゴールを目指すことを通じてお互いを知り、安心して暮らせる町について考えました。

今回、41チーム248人のランナーが、市内各地のスタート地点からゴールである総合公園を目指し、市内を認知症のテーマカラーであるオレンジ色に染めました。ゴールでは、プラスバンド演奏や認知症カフェなどもあり、このイベントを通じて皆さんの心は一つにまとまっている様子でした。



12/11 第15回土岐市文芸祭表彰式

一般の部(敬称略)

部門/賞名	文芸祭賞	市長賞	教育長賞
現代詩	遊酔庵住人(土岐市)	田中和江(飛騨市)	伊神さと子(多治見市)
短歌	中野善孝(多治見市)	堤なつ子(大垣市)	臼井均(岐阜市)
俳句	加藤桂(土岐市)	加藤芳子(多治見市)	鈴木哲也(愛知県)
川柳	土田真司(瑞穂市)	中川潔(福井県)	船岡五郎(東京都)
狂俳	井口洋輔(土岐市)	宏正(加茂郡)	西村穂奈美(加茂郡)

第15回土岐市文芸祭表彰式が文化プラザで行われました。各部門に市内外から4,637点の応募があり、上位に入賞した41人が表彰されました。

小中学生の部(敬称略)

部門/賞名	優秀賞	奨励賞	
現代詩	加藤里莉佳(肥田中1年)	吉本綾菜(泉中1年)	丹羽珠優(泉中1年)
	奥村奈桜(肥田中1年)	松波幹治(泉中1年)	池崎善彦(駄知中1年)
	寺島愛美(泉西小3年)	鈴木萌愛(泉西小5年)	-
短歌	土本花(泉中2年)	林愛璃(西陵中2年)	三浦琴充(駄知小6年)
	松本宗士(肥田小6年)	加藤翔(西陵中2年)	山村優月(泉西小3年)
	巽陽菜多(泉西小3年)	服部花乃(肥田中2年)	田口愛莉(駄知中2年)
俳句	伊佐治詩織(泉中3年)	神戸来心(肥田中3年)	安藤ほの美(駄知中3年)
	水野羽海(泉小3年)	清水太陽(肥田中3年)	水野結(泉小4年)
	八谷美友(泉小6年)	村上咲来(濃南小5年)	澤田日和(泉小5年)

